

1 あっ！みーつけたっ！！



くすのきしげのり/作
大島妙子/絵

光村教育図書

1300円

E

身近にある石で動物を作ってきたものは動物園。病気で入院している妹が行きたがっている動物園を作って妹を喜ばせたい……そんな「ぼく（お兄ちゃん）」や家族の優しさ，思いやり，愛情，幸せが感じられる心温まる一冊です。

2 あ、はるだね



ジュリー・フォリア-/文
Iリッ・Eステッド/絵
金原瑞人/訳
講談社

1400円

E

茶色一色だった風景が，春に向けて徐々に移り変わっていく様子が優しい色づかいで描かれています。時間の流れをゆったり感じるとともに，自然の変化を広い視点でとらえることができる絵本です。

3 いつまでも



エマ・ドッド/文・絵
むらたまさお/訳

バベルプレス

1500円

E

こぐまの喜び，悲しみ，不安等の思いをすべておやぐまが受け止めるという親から子へのメッセージとなっています。どんなことがあっても親は子どもを守るという親の強い愛情がたっぷり伝わる内容になっています。

4 おつきさまのかぞえうた



新井洋行/作

えほんの杜

926円

E

主人公は，まんまる顔のお月様です。眠りにつく頃，おつきさまが1から10まで数え歌を歌います。1つずつ増えていく数に合わせたリズムカルな文が自然と眠りへ導いてくれます。布団の中で子どもに読み聞かせしてほしい一冊です。

5 おなかのなかにいたときはね



池川明/原案
かしわぎゆたか/文
いしもりなこ/絵
集文社

1200円

E

作者は産婦人科のお医者さんです。生まれる前の赤ちゃんがお母さんやその周りの人の声や音を聞いていることなど，「赤ちゃん」の不思議についての話です。親としての在り方も考えさせられる内容の一冊です。

6 おべんとう
まえからもうしろからもよめるえほん



さとうめぐみ/作・絵

ひかりのくに

850円

E

ページをめくりながらお弁当箱におかずを一つずつ詰めると、お弁当の出来上がり。絵本をひっくり返して後ろからページをめくりお弁当のおかずを一つずつ食べていくと、お弁当箱が空っぽに。一冊で2度おいしい絵本です。

7 おむかえ



ひがしちから/作

佼成出版社

1300円

E

保育園に着いてもお母さんと離れるのが嫌で泣いている子どもと、お母さんの思いに寄り添う一冊です。子どもとお母さん、両方の目線で共感できる内容です。絵本の中の子どもの成長に、心が温かくなります。

8 かおかおどんなかお



柳原良平/作

こぐま社

700円

E

子どもの大好きな顔を題材にした絵本です。ちょっとした変化で表情が変わるシンプルで楽しい内容です。13×14センチで厚手の紙を使用しているので、お母さんのカバンの中に入れておいて子どもと一緒に楽しんでいただきたいと思います。

9 くじらさんの一た一めならえんやこーら



内田麟太郎/作
山村浩二/絵

鈴木出版

1300円

E

「くじらさんの一た一めならえんやこーら」というかけ声を知っていっしょやる方は、懐かしいのではないのでしょうか。海の仲間が協力し合うところについつい力が入ってしまいます。絵本を読みながらみんなでくじらさんを助けましょう。

10 こっちへおいで、あそぼうよ



ヴァクトリア・アドラー/ぶん
デヴィッド・ウォーカー/え
福本友美子/やく
岩崎書店

1200円

E

よちよち歩きの男の子が、とり、ねこ、いぬ、さかなに「こっちへおいで」と呼ばれて一緒に遊びます。それぞれの生き物に合った遊びを主人公と一緒に疑似体験できます。優しいタッチの絵にも引き込まれます。

11 このパンなにパン？



ふじもとのりこ/作・絵
鈴木出版
1100円
E

「パンパン このパン なんのパン？」という問いの繰り返しに対していろいろのパンが登場します。画面いっぱいの美味しそうなパンに思わず手を伸ばしてしまい……。モグモグ「ごちそうさま」という声が聞こえてきそうです。

12 ゴリラのおとうちゃん



三浦太郎/作
こぐま社
1200円
E

大きいからだのゴリラですが、お話の中に出てくるゴリラは人間みたい。読み手に親子の愛情や優しさを伝えてくれます。関西弁で表現されていることで、より一層ほのぼの感が出ています。ひざの上で読んであげてください。

13 せんそうしない



たにかわしゅんたろう/ぶん
えがしらみちこ/え
講談社
1300円
E

わたしたちの周囲に存在する様々な関係性のものを例えに戦争について考えています。目的に関わらず戦争によって人が死ぬことにも触れています。難しい話を優しいタッチの絵でとても分かりやすく表現しています。

14 たんぼぼねこ



せなけいこ/作・絵
鈴木出版
1300円
E

ふわふわで風にのってどこまでも飛んでいくたんぼぼのわた毛をいっぱい集めたらこんなことができる...想像するだけでワクワクドキドキします。温かみのあるちぎり絵も想像をさらに膨らませてくれます。飛んでおでかけしたいな。

15 ちっちなサリーはみていたよ
ひとりでもゆうきをだせたなら



ジャスティン・パーツ/ぶん
クリスチャン・ピソツ/え
中井はるの/やく
岩崎書店
1400円
E

クラスでいじめられている友だちがいるのにだれも止めようとしません。クラスでも小さくて存在感のない主人公サリーは、友だちの気持ちに寄り添い、行動に出ます。あと一步の勇気が大きな力になることを教えてくれる一冊です。

16 つまさきさん、おやすみ！



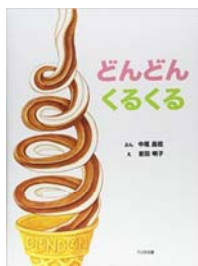
バーバラ・ポッター/文
マギー・スミス/絵
ふしみみさを/訳
光村教育図書

1200円

E

布団に入ってもなかなか眠りについてくれないお子さんはいませんか。今日一日頑張った体の部位一つ一つに、語りかけながら眠りにつくという発想がユーモラスです。読み進めていくうちに自然に眠りの世界に入っていきそうですよ。

17 どんどんくるくる



中尾昌稔/ぶん
岩田明子/え

大日本図書

1300円

E

子どもの身近にあるくるくる回るものを取り上げています。「どんどんくるくるなーかな？」という問いに対して、あてっこを楽しめる内容になっています。背景の白に対してカラフルな色使いが、より一層楽しい気持ちにしてくれます。

18 もういいよったらもういいよ



香山美子/作
あんびるやすこ/絵

金の星社

1200円

E

友だちになりたいけど一歩が踏み出せないきつねさんの気持ちに寄り添い、タイミングを見て声をかけるくまさんの優しさが、この一冊にあふれています。絵本の中のくまさんの表情に、こちらも優しい気持ちになれます。

19 ももも



川之上英子/さく・え
川之上健/さく・え

岩崎書店

750円

E

でっかいもも、ちっちゃいたくさんのもも、ころころころがるももなど、ページごとに美味しそうなももが出てきます。「もも」の文字の大きさや数が異なっているので、読み方を工夫すると絵本と一体になれます。

20 ヤマネのナノのぼうけん



上岡裕/文
むらかみひとみ/絵

岩崎書店

1300円

E

里山に暮らすヤマネの子ども「ナノ」が町に冒険に行き、人間の暮らしに必要な「あかり」とその仕組みについて知ります。「ナノ」が見たものや感じたことを通して気付かされることもあります。環境と暮らしについて考える一冊です。